

【高等学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名	佐賀県立唐津工業高等学校
-----	--------------

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により予測不能な学習環境の中、ICT機器を積極的に活用しオンラインによる集会や講演会・授業を積極的に行った。次年度は、さらに効率的により良い教育効果を得られるように実践に励みたい。 ・「数学会」等による基礎学力の定着の取り組みは一定の効果を得られている。引き続き、生徒の学習意欲や授業に対する興味・関心を高める授業に取り組む。 ・地域貢献・連携は、コロナ禍においても創意工夫し積極的に取り組めた。今後も一層貢献・連携し地域から信頼される学校を更に築き上げていきたい。 ・生徒指導は、各科と各学年の連携を密にしながらか職員で情熱を持って指導に当たることにより、生活全般における規範意識の醸成に取り組んだ。学校独自の取り組みである、ヒューマントレーニングの教育的効果は道徳心の育成やマナーの醸成に繋がっており、さらなる向上を目指し実践し続けた。 ・本校において部活動とものづくりの教育的効果は大きなものがある。生徒の人間力醸成のため引き続き、高い目標をもって取り組んでいきたい。 ・特に教室の環境美化を徹底し、整理整頓を心掛けさせることで落ち着いた学習環境をつくり出していきたい。
---------------	--

2 学校教育目標	<p>「自立貢献」できる生徒の育成</p> <p>目標を達成するための方法を考え、自らの課題を見つけ、主体的に行動し、責任が取れる生徒。☆「起(た)て」「察(み)よ」「遇(ゆ)け」を礎とした自立型人間の育成(学校経営ビジョン)</p> <p>「ものづくりによる人づくり」「部活動による人づくり」を柱として生徒が入学して良かった、保護者が入学させて良かったと思う学校づくり</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>① 全ての生徒が安心して学習ができ安全に生活できる学校</p> <p>② 地域に根ざし保護者や地域との協力連携を深め信頼される学校</p> <p>③ 生徒は真剣な態度で授業を受け教師は分かる授業を実践する学校</p> <p>④ 生徒に夢を持たせ夢を育み夢の実現に向けて歩ませ全力でサポートする学校</p> <p>⑤ 必要な常識・規範意識・道徳心・基礎的な知識・技術を身につけさせる学校</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○基礎学力の定着と夢の実現(志を高める教育)	○「学校独自成果指標」 ◎生徒に確かな基礎学力を身に付けさせ、進路実現100%を達成する。	・学力向上のために行っている「数学会」(学び直しの時間)や各種小テストを定期的に実施し、生徒の基礎学力定着を図る。 ・生徒の「学びを止めない」ために、リモート授業の実施に取り組む。 ・生徒一人ひとりが自らの将来について考え、希望する進路が実現できるよう、生徒・保護者の進路希望を踏まえ、進路実現に向けた学習指導や進路相談、適切な情報を提供する。	B	・1年生の数学会は計画通り1学期末まで実施した。各種小テストも計画通り進んでおり、2学期末まで実施予定。 ・コロナ感染症が5類に移行してからは、対面授業を実施している。 ・生徒一人ひとりの進路希望に応じた指導ができており、ICTを活用した情報提供ができていた。就職希望者の一次試験内定率91.5%。未内定者については12月中旬までの内定を目標に継続指導をしている。進学希望者の割合は12月以降判明する。	B	・1学期に実施した「数学会」(学び直しの時間)にて、基礎学力が向上し、授業における理解度の向上に貢献できた。 ・長期入院の生徒に対して、リモート授業を実施した。 ・生徒一人ひとりの希望する進路が実現できるよう個々に合わせた学習指導や進路相談ができた。適切な情報提供ができた。就職内定率100%、進学合格率100%となった。その他は2名である。	B	・1年生の基礎学力の定着に向け、多くの先生方で数学の学習会を実施している取組は素晴らしいと思います。先生方が一人ひとりの生徒を大切にされていることがわかりました。中学校としてもこのような職員組織となるよう目指したいと思います。 ・教員数を増員して、授業内容と学習の向上をお願いします。 ・基礎学力の定着に向けて、着実な進歩を上げていただいていると思いますが、授業アンケートで授業の予復習が年々、低下傾向にあるので、これからの取組に期待したいと思います。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○規範意識、公共モラル・マナーの向上、自他の生命尊重等、人格形成の一助となることを目指す。 ○「地域に愛される学校」を目指し、地域ボランティアへの積極的な参加(年間100名以上)を目指す。 ○ものづくりによる「地域連携・貢献」を行い、豊かな心を身に付けることを目指す。	・規範意識や道徳心の向上のため、本校独自の取り組みである「ヒューマントレーニング」を年間13回行い、公共モラルやSNSの問題等に真摯に向き合い、自ら考えて行動できるようにする。 ・部活動を活性化させるため、1年生の全員入部を促進し部活動による人づくりを図る。 ・「地域連携・貢献」活動に積極的に参加し他者に対する思いやりや心や社会性、倫理観や正義感、感動する心などを醸成させる。	C	・ヒューマントレーニングは計画通り、年間13回を計画し、実施中である。道徳的価値を含んだ様々なテーマについて、生徒たちが多角的に考え、自己を見つめ直す良い機会となっている。 ・ハイスクールテクノフェスタとして学校紹介と各教科紹介や生徒作品展示と体験コーナーを展開し、多くの来場者で賑わい、本校の教育活動をPRするよい機会となっている。 ・1年生の入部率が70.1%であり、生徒会と学年団で情報共有しながら、入部促進を図りたい。	C	・ヒューマントレーニングを実施し、公共モラルやSNSの問題等に対して、自分の考えに向き合い、表現することができた。 ・学校紹介と各教科紹介や生徒作品展示と体験コーナーを展開し、多くの来場者と触れ合う機会ができた。他者に対する思いやりや心など情勢ができた。 ・途中入部をクラスでも呼び掛けてもらい、数名の希望者がいた。部によっては運営上の問題もあり実現しなかった。	B	・ヒューマントレーニングは唐津工業高校独自の取組として素晴らしいと思います。社会性や自己肯定感の高まりも期待できると思います。 ・生徒のやる気や生活環境の改善をお願いします。 ・「地域に愛される学校」を目指して、日々努力されていると思います。今後とも地域と一体になった学校運営を展開されますよう期待しています。
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ○自らの健康に気を付け、問題を改善しようとする態度や実践力の育成	●「健康に良い食事をする」生徒80%以上 ○朝食をとって登校する生徒80%以上 ○健康診断後の受診率の向上を図る。(受診率30%以上を目指す) ○インフルエンザ等の感染症による学級閉鎖0。	・複数担任によるホームルームやアンケートの実施、各学年団による昼休みの校内巡視などを積極的に取り、生徒とのコミュニケーションを密にし、いじめ・暴力行為の防止と早期発見及び迅速な対応を行い、すべての生徒が安心して学校生活が送れるようにする。	B	・学校生活アンケートを実施し、いじめの早期発見に繋げることができた。 ・SOSの出し方教育講演会を実施し、生徒たちが自身の命や心を大切にできるよう伝えた。	B	・複数担任によるホームルームや各学年団による昼休みの校内巡視、学校生活アンケートの実施とアンケート後の面談を通じて、いじめ・暴力行為の防止と早期発見に努めた。また各問題に対して迅速な対応ができた。	B	・いじめの未然防止・早期発見のための取組が十分になされていると思います。 ・学校生活アンケートを実施し、各先生方が迅速に組織的に対応できたと思います。 ・今後とも引き続きお願いします。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・生活習慣アンケート及び食に関する意識調査、健康状況調査を実施し、健康に関する意識付けを行う。 ・保健だよりや掲示物等を活用し、健康に関する情報に触れる機会を設け、心身の健康を保持増進するための態度を養う。 ・担任・部活動の顧問と連携し、異常があれば改善・回復するための行動が取れるようにする。	B	・生活習慣アンケートは予定通り実施し健康に関する意識付けを行っているところである。 ・保健だよりを定期的に発行し健康や感染症について見直し機会を設けている。 ・新型コロナウイルス感染症については教室の対角線の窓を開けるなど対策を行いながら拡大しないように努めている。	B	・生活習慣アンケートを実施し「朝食をとって登校している」生徒が約8割という結果が出た。また、歯の健康について考えさせるため文化祭では生徒保健委員によるステージ発表に取り組み周知を図った。 ・感染症対策として教室の常時換気を実施するとともに、保健だより(げんき)を定期的に発行し感染症対策や健康に関する意識付けを行うことができた。 ・インフルエンザ等感染症による学級閉鎖が延べ9学級になるなど感染防止への課題が残る。	B	・生活習慣アンケートの結果、「健康に良い食事をしている」、「朝食をとって登校している」生徒の実態を示していただけとありがたいです。(数値目標80%以上) ・薬物乱用防止教室や献血活動等に積極的に取り組まれ、他校の模範になると思う。 ・今後とも引き続きお願いします。 ・薬物乱用防止教室や献血活動等に積極的に取り組まれ、他校の模範になると思う。 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、今後とも十分な対策を講じてほしいと思います。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
○特別活動	○部活動による人づくり	○部活動参加率90%を目指す。 ○部室等の公共施設の利用を通し、マナーモラルの向上を身に付ける。	・集会、個人面談等を利用して部活動の教育的効果、人格形成に対する効果等を説明し入部を奨励する。 ・部室点検を行い、部室の整理整頓を頻りに行う。	B	・全校での参加率が82.5%と例年に比べ低い数字となった。魅力ある活動の運営が必要だと感じる。 ・定期的な部室の掃除を促している。今後は日頃の整理整頓についても推奨していきたい。	B	・部活動として活動するところが少なくなっている感じがする。来年度はもっと部活動による人づくりを前面に出す必要がある。 ・定期考査ごとの部室清掃を促したが、部によってはできていないところもあり困った。	B	・部活動参加率90%に対して82.5%は満足できる数値だと思います。鬼塚中学校は74%でした。中学校での加入率も影響していると思います。 ・部活動への加入推進をお願いします。 ・部活動への参加率が低下傾向ですので、部活動への魅力発信を進めてほしい。
○地域連携活動	○地域活動への協力・協働・参加 ○相互間の信頼関係の構築 ★本校の特色や魅力を中学生や保護者に発信する。	○唐津地区のイベント等に可能な限り、参加・協力する。 ★自分の学校を中学校に勧めることができる生徒の割合75%以上。教職員の割合75%以上。	・イベント等に参加・協力するうえで、日頃の学習成果を試す場とし、生徒たちの達成感と自己肯定感を高める。 ・ハイスクールウェビナーや高校進学説明会、体験入学を通してPRする。	B	・地域のイベントに10月に1カ所参加し、11月に2カ所参加予定で、学校紹介、ものづくり体験を行い、地域活動の協働と協働が実現している。 ・体験入学の参加者は、229名で進路の決定に大変参考になった。	B	・地域のイベントに参加し、学校紹介、ものづくり体験を行い、地域活動の協働と協働が実現した。 ・中学校に勧めることができる生徒の割合74.0%、教職員の割合74.3%だった。	B	・本校の駐輪場のタイヤ止めを12基設置していただき大変感謝しております。今後3~4年計画で継続した取組をしていただく予定に重ねて感謝いたします。 ・人員が足りず、行えなかったものもあるので、人員補充をお願いします。 ・4年ぶりに地域のイベントが復活し、学校においてもものづくり体験を通じて地域活動との協働を推進されていると思いますので、今後とも協力をお願いします。

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…果共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ☆…唯一無二の誇り高き学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が終わり、以前の学校生活に戻っているが、生徒の多様化や自然災害時の対応するため、職員のオンライン授業の技術が必要となる。定期的に研修会を計画することで、技術の継承に努めていきたい。 ・生徒指導面では生徒のモラルの低下が懸念され、HR活動やヒューマントレーニングを通して、道徳心の育成とマナー向上に繋がるように工夫をしながら実践を継続していきたい。 ・数学会や小テストは生徒の基礎学力の向上に必要であり、生徒の進路目標に関わるため、これからも継続して取り組んでいきたい。 ・校内美化や地域での奉仕活動を通して、ボランティア精神を学ぶとともに、安全安心な学習環境を整備する活動を継続していきたい。 ・ものづくりを通して地域に貢献するとともに、職業人としての倫理観を養い、社会人に必要とされる技術の習得を目指す。
----------------	---